



楽しそうにバザーに参加するかいとの皆さん

きらりとかいとが贈る楽しいひととき 「きらり☆かいとまつり」を開催

「きらり☆かいとまつり」が10月14日、障害者地域活動センターかいとと五十崎児童館きらりで開かれました。子どもたちに人気のアイロンビーズ作りや科学体験コーナー、かいとの利用者が手作りした焼き菓子などを求めて、多くの人でにぎわいました。かいと所長の宮田哲郎さんは「イベントを通じて施設のことを身近に感じてほしい。来年もまた楽しく交流しましょう」と呼び掛けました。



贈られた絵本を持って記念撮影(こぼと保育園)

国際ソロプチミスト大洲が絵本を寄贈 「仲良く読んで本を好きになってね——」

国際ソロプチミスト大洲から内子町内の2つの保育園に絵本が贈られ、10月16日にこぼと保育園で、19日にくるみ保育園で贈呈式が行われました。16日には同団体の代表2人が、心豊かな子どもたちの成長を願って、絵本を手渡しました。高見恵美園長は「いただいた絵本は、毎日の読み聞かせなどで使う。子どもたちのために大切に使用したい」とお礼を述べました。



テレビなどでも活躍する立川談春さんの公演

大荒れの天気でも「大満足」の声—— 立川談春さんが内子座で初公演

「立川談春独演会」が10月21・22の両日、内子座で行われました。「今、最もチケットが取れない」と言われる落語家の演目を聴こうと、2日間で950人の落語ファンが詰めかけました。演目前の口上では、初めて訪れた内子町や、この日接近していた大型台風の話を楽しみに変えた後、『粗忽の使者』と『妾馬』の2つの演目を披露して会場を沸かせました。



「立木式蠟搾り機」の仕組みが分かる模型などを展示

木蠟生産の歴史を伝える貴重な資料を展示 「第4回木蠟資料館上芳我邸企画展」

木蠟資料館上芳我邸企画展「蠟を搾る—立木式蠟搾り機—」が10月21日から、同施設で始まりました。この企画展は、収蔵する1,444点の国の重要有形民俗文化財をはじめとする資料をもとに、毎年1回のペースで開催されています。今回は、実際に使われていた蠟搾り機の部品など31点を展示。道具に秘められた当時の人々の知恵などを紹介しています。展示は12月17日までです。

月明かりと町灯りの共演—— 町並保存地区で恒例の観月会

中秋の名月を町並みで愛でる「八日市町並観月会」(八日市護国町並保存会主催・丸山昇^{のぼる}会長)は10月3・4の両日、八日市・護国地区の伝統的建造物群保存地区で開かれました。雨が心配される不安定な空模様でしたが、見事な月が夜空に浮かび、美しい町並みと人々の笑顔を照らしていました。

吊り行灯などでライトアップされた町並みには、2日間で約2,200人が来場。芳我明彦さんや琴栄会の皆さんが演奏する琴の音色に耳を傾けながら、幻想的な町並みをそぞろ歩きました。また上芳我邸の庭園では堀尾由謠^{ゆうりょう}さんと泰磨^{やすま}さん親子による津軽三味線の演奏会があり、月明かりにふさわしい演目で観客を魅了しました。その他にも同保存会女性部の皆さんが手作りした月見団子の販売、手漉き和紙の作品展や翠月流の皆さんのはぜとり踊りなど、さまざまな催しがありました。

丸山会長は「秋の風物詩として地域の皆さんに喜んでもらえることがうれしい。催しに協力してくれる皆さんに感謝している」と笑顔で話しました。



1_月と行灯に照らされる町並みを、多くの人がそぞろ歩いた 2_風情のある障子の前で談笑 3_ハゼの実の収穫を歌う「はぜとり唄」に合わせて踊る 4_清正ひろばには、月見団子を食べながら月を愛でる人たち

長年にわたる交通安全活動を称え 町内の2人が「緑十字銅章」を受章

交通安全の推進に貢献した人に贈られる「緑十字銅章」の伝達式が9月28日、内子座で行われた交通安全の集いに合わせて行われました。表彰者は矢取武晃^{たけあき}さん=小田下=と片倉健充^{たけみち}さん=中町=の2人。長年にわたる交通安全活動の功績が認められました。矢取さんは「小田支部では死亡事故がしばらく出ていない。これからもルールを守って安全運転を心掛けて」と呼び掛けました。



稲本隆壽^{たかし}内子交通安全協会会長から表彰状が手渡された

実りの秋に感謝—— 町内各地域で伝統の秋祭り

雨が続いた10月中旬、町内各地域で秋祭りが行われました。天神地域の秋祭りは15日、みこしや牛鬼が勇ましい掛け声を上げながら、柿原地区や岡地区などを練り歩きます。この地域では毎年、厄年の人がダイバン役をし、御旅所の柿原自治会にみこしに乗って登場するのが伝統。ダイバン役の宮岡圭介^{けいすけ}さんは「一体感に感動。地域や伝統の素晴らしさを肌で感じた」と話しました。



雨の中で開催された天神地域の秋祭り